

きらり☆

松橋支援学校 広報誌

卒業おめでとう

梅のつぼみもようやくほころび、春の気配を感じられる頃となりました。

「光陰矢のごとし」と言われますが、平成28年度もあっという間に終わろうとしています。卒業式が、3月2日（高等部専門学科と氷川分教室）と3月14日（小・中学部、高等部普通科）に行われ、高等部の卒業生は慣れ親しんだ学舎を巣立っていきます。

今年は4月14日と16日に熊本地震があり、大変な1年間でした。しかし、児童生徒のみなさんはそれをね除けるような気持ちで、50周年記念式典をはじめとした様々な行事に取り組みました。

『じょうぶで 明るく 粘り強く』の校訓のもと、3年間から12年間、お互いの良さを認め合いながら、頑張ってきました。それぞれ卒業後の進路はさまざまですが、自信を持って、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに活躍してほしいと願っています。

校区の皆様をはじめ、御指導いただいた関係の皆様には、本校児童生徒を温かく見守っていただき、多くの行事や教育活動に御支援・御協力を賜り、大変ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

第49号

平成29年

3月発行

熊本県立
松橋支援学校

〒869-0543

宇城市松橋町

南豊崎252

TEL 0964-32-0729

第一期生 9人が卒業

氷川分教室卒業式

3月2日午前に氷川分教室第一期生9人の卒業式を氷川分教室体育館で行いました。卒業生代表による答辞では、3年間の思い出、在校生への熱いメッセージ、今まで支えてもらった人たちへの感謝の気持ち、「自分自身で選んだこれからの道をしっかりと歩んでいく」という決意を、立派に発表しました。3年前、9人の仲間でスタートした卒業生は、多くの在校生に見守られて晴々とした顔で旅立っていききました。

卒業生全員の進路先も決まり、4月からは新社会人としてそれぞれの道で活躍することになります。



高等部専門学科卒業式(3月2日午後 本校体育館)



男女アベック優勝！

ライオンズ駅伝大会



2月18日に「第17回熊本中央ライオンズクラブ杯障がい者駅伝大会」が、熊本市の熊本県総合運動公園陸上競技場（えがお健康スタジアム）で行われ、高等部専門学科と氷川分教室から7チーム35人が出場しました。授業でのジョギングや部活動での練習の成果を出そうと、参加した生徒は精一杯走り、タスキをつなぎました。専門学科A（男子）とD（女子）が優勝、氷川分教室A（男子）が準優勝、区間賞も男子5人、女子2人と、素晴らしい成績を収めることができました。



氷川分教室「美術」作品
「人権ポスター」

平成28年度公開研究会

本校では、平成27、28年度の2年間にわたり、「PDCAサイクルを活用した効果的な授業研究について」というテーマのもと、学校全体として研究に取り組んできました。その総まとめとして、2月17日に公開研究会を実施しました。当日は、校外から約50名のご参加をいただき、午前は公開授業、研究概要説明、午後はポスターセッションを行いました。その後、福岡大学人文学部教授の徳永豊氏に、『特別支援教育における子どもの学びとそのつながり』という演題でお話いただきました。今後は、今回の研究会で得られた知見を活かして、日々の授業の更なる充実を目指してまいります。



氷川分教室だより



2月24日に美里町にある「釈迦院御坂遊歩道 日本一の石段」に挑戦しました。今年は、体力に比べて5つのグループに分かれてスタートしました。1グループは3333段（頂上）、2グループは2500段、3グループは2000段、4グループは1000段、5グループは500段を目指しました。お互いに声を掛け合い励まし合ったり、すれ違う一般の方々に元気のいい挨拶をかわしたりしながら、全員無事に目標の石段を上ることができました。グループによっては、目標をはるかに上回る石段をのぼることができ、楽しい思い出ができました。

